

地域防災・避難訓練 (ワークショップ)

平成31年3月27日

地域防災・避難訓練（大阪府八尾市）実施状況

【概要】

- 平成30年7月豪雨災害では甚大な被害が発生。水害・土砂災害が発生した場合を想定して、地域住民及び自主防災組織等が参加する避難訓練を始めとした防災訓練を実施し、地域の防災力の向上を推進し、災害における人的被害の軽減を図ることを目的に実施。
- 平成31年3月、大阪府八尾市において、防災気象情報等の防災講習会と「災害・避難カード」の作成体験をワークショップ形式で実施。

【実施日時】

- 平成31年3月27日（水）19:00～21:00

【実施場所】

- 大阪府八尾市 八尾市役所高安出張所

【参加者】

- 八尾市高安地区（土砂災害の危険性が想定される地域）の住民35名
- 八尾市職員、消防職員等 5名程度
- 内閣府職員、委託事業者

・ 防災講習会



・ 「災害・避難カード」作成体験



・ 挨拶・趣旨説明



八尾市危機管理課長



八尾市高安地区
まちづくり協議会 会長



内閣府（防災担当）職員

本日のスケジュール

1. 開会
2. あいさつ
3. 参加者紹介
4. ワークショップ（災害・避難カード作成体験）
 - ・趣旨説明
 - ・防災講習会
 - ・作成体験
5. 意見交換
6. あいさつ
7. 閉会

4. ワークショップ (災害・避難カード作成体験)

1. 地域防災・避難訓練等事業について

■説明

内閣府政策統括官（防災担当） 参事官（地方・訓練担当）



2. 防災講習会

(1) 「やお防災マップ」 ～洪水・土砂災害編～

説明

八尾市 危機管理課

浸水想定マップ

このマップは、国土交通省が作成した「浸水想定区域図」に基づき、八尾市内の浸水想定区域を示しています。また、土砂災害警戒区域も併せて表示されています。

浸水想定区域は、大雨による河川の氾濫や、台風による高潮などによって発生する可能性があります。浸水想定区域に所在する場合は、事前に避難場所を確認し、必要に応じて避難してください。

マップをより身近に活用するためのヒント。このマップを上手に活用して、災害発生時の対応を準備しましょう。

自分で守る **みんなで守る**

やお防災マップ

～洪水・土砂災害編～

Yao Disaster Prevention Map: Flooding and Landslide Damage / 八尾市防災マップ～洪水・土砂災害編～ / 八尾市防災マップ～洪水・土砂災害編～ / 八尾市防災マップ～洪水・土砂災害編～

平成26年3月作成

わが家の避難所

家族の緊急連絡先

| 家族構成 | 氏名 | 住所 | 電話番号(携帯電話) | 電話番号(携帯電話) |
|------|----|----|------------|------------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

川の情報連絡先

| 機関名 | 住所 | 電話番号 |
|------------------------|-----------------------|---------------|
| 国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所 | 大和川 | (072)971-1381 |
| 大阪府八尾土木事務所(中月内府民センター内) | 豊福川、韓徳川、平野川 | (072)994-1515 |
| 大阪府豊川水害改善工務所 | 第二豊福川、豊福川(一部)、平野川(一部) | (06)6962-7661 |
| 八尾市土木部 | その他河川、水路 | (072)991-3881 |

大和川河川事務所 <http://www.kkrz.mlit.go.jp/yamato/index.php> (携帯)<http://www.kkrz.mlit.go.jp/yamato/mobile/>
 大阪府河川防災情報 <http://www.osaka-lazanportal.net/subou/> (携帯)<http://www.osaka-lazanportal.net/subou/mobila/>
 電話で聞く雨量情報 ☎(072)924-0999(自動応答)

⚠️ 浸水の危険がある時は早めに避難しましょう！

八尾市 人権文化ふれあい部 地域安全課 ☎(072)924-9670(直通)

2. 防災講習会

(2) 土砂災害関係

■土砂災害の恐ろしさを知る



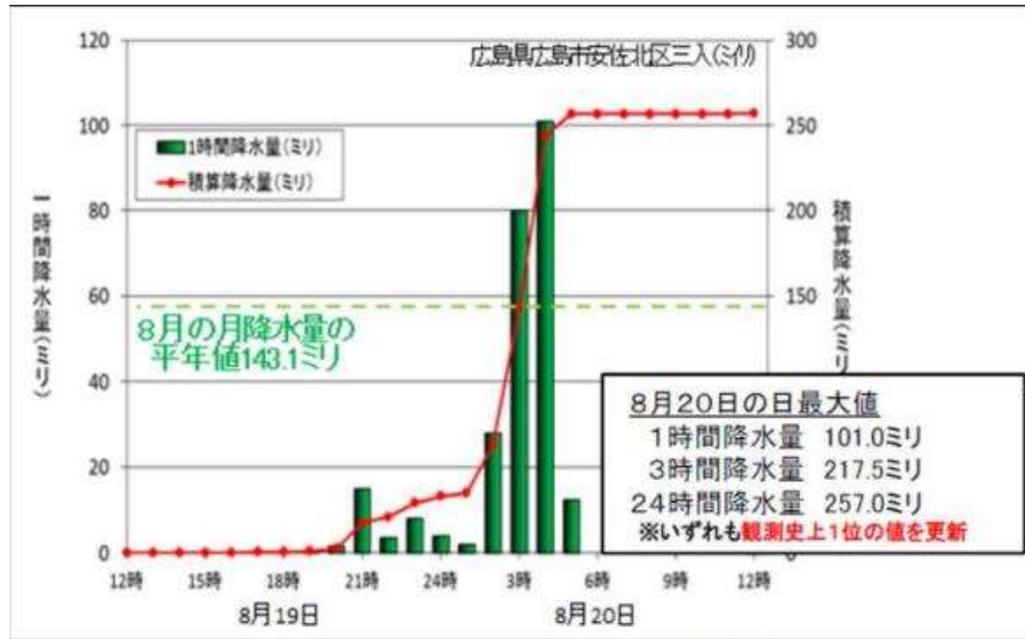
(「平成26年の土砂災害」
(国土交通省砂防部)より)

2. 防災講習会

■土砂災害の恐ろしさを知る



広島県広島市の土砂災害



(写真: 気象庁「災害時気象速報平成26年8月豪雨」より)

(グラフ: 国土交通省「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」(資料2)より)

★平成26年8月豪雨

○台風第12号及び台風第11号が相次いで日本列島に接近し、前線が日本付近に停滞。全国各地で連日大雨となり台風が接近・上陸した西日本を中心に暴風となった。

○特に広島市では、月降水量の平年値を大きく超える降雨が短時間に発生。災害発生日1日間の積算降水量が月平年値を大きく上回る。死者74名の人的被害。

2. 防災講習会

■土砂災害から身を守る

台風や大雨に備えて

①お住まいの場所が、土砂災害警戒区域か確認する。

過去に発生した土砂災害の実績による指定基準を基に、都道府県では土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」として指定を進めています。

普段からお住まいの場所が土砂災害警戒区域に指定されているか、国土交通省砂防部のホームページ

(http://www.mlit.go.jp/river/sabo/link_dosva_kiken.html)などで確認しましょう。あるいはお住まいの市町村役場に問い合わせください。

*現在、土砂災害警戒区域の指定が完了していない箇所もありますので、併せて土砂災害危険箇所かどうか確認してください。



雨が降り始めたら

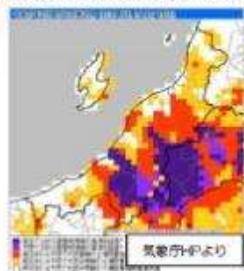
②土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。

土砂災害警戒情報は、気象庁ホームページ、(<http://www.jma.go.jp/dosha/>)、国土交通省砂防部のホームページ、(http://www.mlit.go.jp/river/sabo/sabo_ken_link/index.html)

各都道府県の砂防課などのホームページなどで確認できます。都道府県によっては、携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を連絡するサービスもありますのでご活用ください。

土砂災害警戒判定メッシュ情報



テレビ報道



出典：政府広報オンライン

豪雨になる前に

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された際には早めに避難する。夜間に大雨が予想される際は暗くなる前に避難する。

がけ下や溪流沿いなどにお住まいの方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。

また、夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。

お住まいの自治体の避難勧告などの情報に注意して、早めの避難を心がけましょう。

なお、豪雨などで避難所への避難が困難なときは次善の策として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、さらに困難な際は、家の中のがけから離れた部屋や二階などの少しでも安全な場所に移動しましょう。



避難

(国土交通省「土砂災害から身を守るために知っていただきたいこと」より)

2. 防災講習会

■ 土砂災害を知る

がけ崩れ

Precipice collapse (mud and rock slide) / 塌方 / 사면 붕괴 / Desabamento de barrancos / Sụt lở đất đá



地中に染み込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちること。

▶ こんな前触れに要注意!

- がけに割れ目が見える。
- がけから小石がバラバラと落ちる。
- がけの斜面がはらみ出す。
- がけに表面流が生じる。
- がけから水が噴き出す。
- 湧水が濁り出す。
- 樹木が傾く。
- 樹木の根が切れる音がする。
- 樹木の揺れる音がする。
- 地鳴りがする。

土石流

Mudslide / 泥石流 / 토석류 / Escoamento de terras e pedras / Dòng mãnh vụn đất đá



長雨や集中豪雨などで、山や川の石と砂が水とともに一気に流されること。

▶ こんな前触れに要注意!

- 溪流付近の斜面が崩れ出す。
- 落石が生じる。
- 川の水が異常に濁る。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 土砂が流出する。
- 濁水に流木が混じり出す。
- 溪流内で火花が散っている。
- 地鳴り・山鳴りがする。
- 転石のぶつかり合う音がする。
- 腐った土のにおいがする。

地すべり

Landslide / 滑坡 / 지층 미끄러짐 / Deslizamento de terras / Trượt đất



雨水が地面に染み込み、水の浮力によって持ち上げられた地面が広い範囲でゆっくりと動き出すこと。

▶ こんな前触れに要注意!

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部に落ち込みや盛り上がりがある。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。
- 池や沼の水かさが急減する。
- 家や擁壁(ようへき)に亀裂が入る。
- 擁壁(ようへき)や電柱が傾く。
- 樹木が傾く。
- 樹木の根が切れる音がする。

(「やお防災マップ」～洪水・土砂災害編～より)

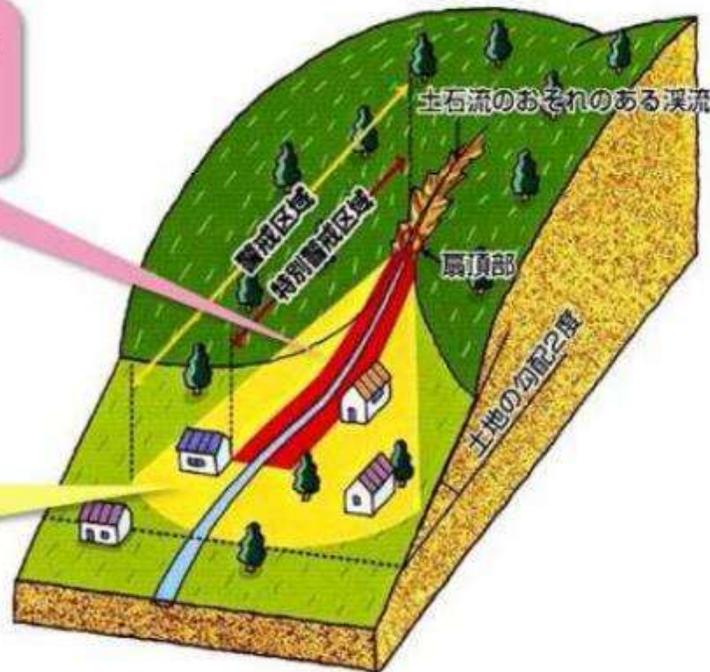
2. 防災講習会

■土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

【土石流に関して】

赤く塗られている区域が土砂災害特別警戒区域の指定対象となります。

黄く塗られている区域が土砂災害警戒区域の指定対象となります。



(解説図は神奈川県ホームページより)

○土石流の発生のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

※このうち、土砂災害特別警戒区域は「土石流に伴う土石等の移動により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域」。

2. 防災講習会

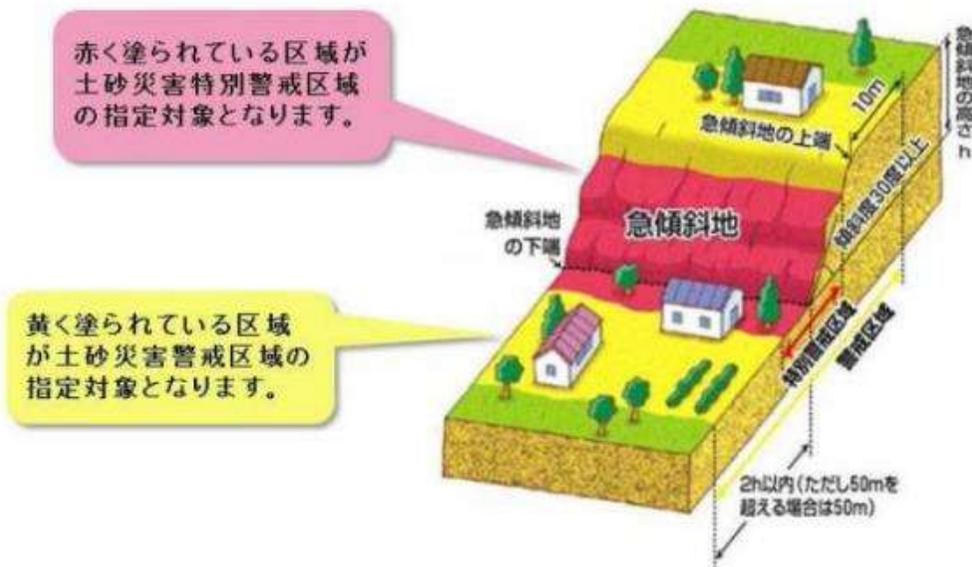
■土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

【急傾斜地など】

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50mを超える場合は50m）以内の区域

※このうち、土砂災害特別警戒区域は、
建物が破壊され、人命に大きな被害が生ずる
おそれがある区域

「急傾斜地の崩壊に伴う土石等の移動により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域」



(解説図は神奈川県ホームページより)

2. 防災講習会

(3) 気象情報

■ 1時間に降る雨量の目安

| やや強い雨 | 強い雨 | 激しい雨 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 |
|--|--|---|--|--|
| 1時間に10～20mm | 1時間に20～30mm | 1時間に30～50mm | 1時間に50～80mm | 1時間に80mm以上 |
|  |  |  |  |  |
| ザーザーと降る。この程度の雨でも、長く続く時は注意が必要。 | どしゃ降り。側溝下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。 | バケツをひっくり返したような雨。山崩れ・がけ崩れが起きやすくなる。 | 滝のように降る。地下に雨水が流れ込んだり、土石流が起きやすくなる。 | 息苦しくなる圧迫感。大規模災害発生の可能性があり、厳重な警戒が必要。 |

(「やお防災マップ」～洪水・土砂災害編～より)

2. 防災講習会

(4) 防災気象情報

■大雨警報・注意報等

(気象庁ホームページより)

| | |
|--------------------|--|
| 大雨 注意報 | <p>注意報とは、災害が発生するおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。</p> <p>大雨注意報は、大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。雨が止んでも、土砂災害等のおそれが残っている場合には発表を継続します。</p> |
| 大雨 警報 | <p>警報とは、重大な災害が発生するおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報です。</p> <p>大雨警報は、大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨警報(土砂災害)」、「大雨警報(浸水害)」又は「大雨警報(土砂災害、浸水害)」のように発表します。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが残っている場合には発表を継続します。</p> |
| 大雨 特別警報 | <p>警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害が発生するおそれが著しく高まっている場合、特別警報を発表し、最大級の警戒を呼びかけます。</p> <p>台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表します。大雨特別警報が発表された場合、重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれが著しく大きい状況が予想されます。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨特別警報(土砂災害)」、「大雨特別警報(浸水害)」又は「大雨特別警報(土砂災害、浸水害)」のように発表します。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが著しく大きい場合には発表を継続します。</p> |

2. 防災講習会

(4) 防災気象情報

(気象庁ホームページより)

大雨警報発表中にさらに重ねて発表される防災気象情報

■土砂災害警戒情報

| | |
|----------------------|---|
| 土砂災害 警戒情報 | 大雨警報(土砂災害)が発表されている状態で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。 |
|----------------------|---|

■記録的短時間大雨情報

| | |
|-----------------------------|---|
| 記録的 短時間 大雨情報 | 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析したりしたときに、各地の気象台が発表します。 大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを知らせるために発表し、大雨を観測した観測点名や市町村等を明記しています。 |
|-----------------------------|---|

2. 防災講習会

(4) 防災気象情報

| 気象状況 | 気象庁の情報 | 市町村の対応 | 住民の行動 |
|--|---|---|---|
| <p>大雨の約1日前 大雨の可能性が高くなる</p> <p>↓</p> <p>大雨の 半日～数時間前 雨が降り始める</p> <p>↓</p> <p>雨が強さを増す</p> <p>↓</p> <p>大雨の数時間 ～2時間程度前</p> <p>↓</p> <p>大雨となる</p> <p>↓</p> <p>大雨が一層 激しくなる</p> <p>↓</p> <p>広い範囲で 数十年に一度の 大雨</p> | <p>大雨に関する 気象情報</p> <p>大雨 注意報</p> <p>大雨警報 (土砂災害)</p> <p>大雨 特別警報 (土砂災害)</p> <p>記録的短時間大雨情報 土砂災害警戒情報</p> | <p>市町村の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の連絡体制を確認 今後の気象状況に注意 災害準備体制 (連絡要員を配置、防災気象情報を把握) 災害注意体制 (避難準備情報の発令を判断できる体制) 必要地域に避難準備情報 (発表中の注意報に、夜間に警報発表の可能性があると記載されている場合) 必要地域に避難準備情報 (台風の暴風域に入る前に) 災害警戒体制 (避難勧告の発令を判断できる体制) 土砂災害発生危険度が高まっているメッシュ内の土砂災害警戒区域等の必要地域に避難勧告 災害対策本部設置 特別警報の住民への周知 避難勧告等の対象範囲を再度確認 | <p>住民の行動</p> <p>気象情報やハザードマップを確認</p> <p>最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備を</p> <p>Point 備えは大丈夫？</p> <p>Point 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は 早めの行動を！</p> <p>Point すでに災害が発生している可能性あり！ 直ちに地元市町村の避難情報に従うなど適切な行動を</p> |

土砂災害に関する気象警報
等が発表された際にとるべき
行動の例

(気象庁ホームページより)

2. 防災講習会

(5) 河川の氾濫情報

洪水時における避難情報
Evacuation information in the event of a flood / 洪水时的避難信息 / 홍수 시 대피정보 / Informações de refúgio no momento de inundação / Thông tin lánh nạn trong khi có lũ lụt

| 河川の水位 | 洪水予報 国・府・気象台 | 市民のみなさんが取るべき行動 |
|--|-----------------|---|
| ▲はん濫危険水位 洪水により相当の家屋浸水などの被害を生ずる恐れがある水位 | はん濫危険情報 | 避難が困難! 直ちに避難を完了させてください。 |
| ▲避難判断水位 避難勧告などの発令を判断する水位 | はん濫警戒情報 | 避難開始! 指定された避難場所にお互い助け合っ て速やかに避難してください。 |
| ▲はん濫注意水位 住民のはん濫に関する情報への 注意を喚起する水位 | はん濫注意情報 | 避難準備! 高齢者や子どもは早めに避難しまし ょう。 |
| ▲水防団待機水位 水防団が出動を待機する水位 | | |
| ▲通常の水位 | | |

※その他、浸水の発生状況や降雨状況などによって、緊急度に応じた避難情報を発令します。

(「やお防災マップ」～洪水・土砂災害編～より)

3. 災害・避難カード作成体験

(1) 作成のねらい

(内閣府「災害・避難カード事例集」より)

- 自然災害による被害の軽減のためには、
住民自身による適時適切な避難がきわめて重要！
- 避難すべき場所などをあらかじめ認識しておくための
仕組みとして「災害・避難カード」を作成する！



これらの情報を、水害・土砂災害等 災害種別毎に整理

3. 災害・避難カード作成体験

(1) 作成のねらい

● 災害・避難カード(●●地区XX)

災害種別ごとに避難行動の内容と避難の合図について整理した「タイミング表」

避難場所までの経路などを記載した「マイマップ」

| 災害 | 避難先・場所 | 避難の合図 |
|--------|-------------------------------|----------|
| 土砂災害 | A小学校 (そこまで逃げられない場合はBマンション) | 土砂災害警戒情報 |
| X川のはん濫 | C市民会館 | はん濫危険情報 |

※災害に巻き込まれないために、日頃からどのような情報に注意すればいいのか確認しておきましょう！



作成した「災害・避難カード」は、

自宅の冷蔵庫など、普段目にとまる場所

財布の中へ入れて持ち歩く

(内閣府「災害・避難カード事例集」より)

3. 災害・避難カード作成体験

(内閣府「災害・避難カード事例集」より)

(2) 作成例① 首からかける

●●市 ●●地区「災害・避難カード」オモテ 1人1枚

点線をはさみで切って使用しましょう。(6人分)

| 「災害・避難カード」－わたしの情報 | | 「災害・避難カード」－わたしの情報 | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| ふりがな 名前 | ふりがな 名前 | ふりがな 名前 | ふりがな 名前 |
| 性別 | 血液型 | 性別 | 血液型 |
| 生年月日 | 生年月日 | 生年月日 | 生年月日 |
| 住所 | 住所 | 住所 | 住所 |
| 電話番号 | 電話番号 | 電話番号 | 電話番号 |
| 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など |
| 避難時は、このカードを持って行く! | | 避難時は、このカードを持って行く! | |

| 「災害・避難カード」－わたしの情報 | | 「災害・避難カード」－わたしの情報 | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| ふりがな 名前 | ふりがな 名前 | ふりがな 名前 | ふりがな 名前 |
| 性別 | 血液型 | 性別 | 血液型 |
| 生年月日 | 生年月日 | 生年月日 | 生年月日 |
| 住所 | 住所 | 住所 | 住所 |
| 電話番号 | 電話番号 | 電話番号 | 電話番号 |
| 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など |
| 避難時は、このカードを持って行く! | | 避難時は、このカードを持って行く! | |

| 「災害・避難カード」－わたしの情報 | | 「災害・避難カード」－わたしの情報 | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| ふりがな 名前 | ふりがな 名前 | ふりがな 名前 | ふりがな 名前 |
| 性別 | 血液型 | 性別 | 血液型 |
| 生年月日 | 生年月日 | 生年月日 | 生年月日 |
| 住所 | 住所 | 住所 | 住所 |
| 電話番号 | 電話番号 | 電話番号 | 電話番号 |
| 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など | 留意事項 持病、飲んでいる薬など |
| 避難時は、このカードを持って行く! | | 避難時は、このカードを持って行く! | |

●●市 ●●地区「災害・避難カード」ウラ 1人1枚

点線をはさみで切って使用しましょう。(6人分)

| 家族（頼りになる人）の緊急連絡先 | | 家族（頼りになる人）の緊急連絡先 | |
|---------------------------------|---------------------|---------------------------------|---------------------|
| 氏名 | 連絡先（職場・携帯など） | 氏名 | 連絡先（職場・携帯など） |
| | | | |
| | | | |
| 電話が つながらないときは、171（災害用伝言ダイヤル） | | 電話が つながらないときは、171（災害用伝言ダイヤル） | |
| ※音声説明あり | | ※音声説明あり | |
| 自分の居場所を伝える 録音「1」 | 家族の居場所を調べる 再生「2」 | 自分の居場所を伝える 録音「1」 | 家族の居場所を調べる 再生「2」 |
| 家族（頼りになる人）の緊急連絡先 | | 家族（頼りになる人）の緊急連絡先 | |
| 氏名 | 連絡先（職場・携帯など） | 氏名 | 連絡先（職場・携帯など） |
| | | | |
| | | | |
| 電話が つながらないときは、171（災害用伝言ダイヤル） | | 電話が つながらないときは、171（災害用伝言ダイヤル） | |
| ※音声説明あり | | ※音声説明あり | |
| 自分の居場所を伝える 録音「1」 | 家族の居場所を調べる 再生「2」 | 自分の居場所を伝える 録音「1」 | 家族の居場所を調べる 再生「2」 |
| 家族（頼りになる人）の緊急連絡先 | | 家族（頼りになる人）の緊急連絡先 | |
| 氏名 | 連絡先（職場・携帯など） | 氏名 | 連絡先（職場・携帯など） |
| | | | |
| | | | |
| 電話が つながらないときは、171（災害用伝言ダイヤル） | | 電話が つながらないときは、171（災害用伝言ダイヤル） | |
| ※音声説明あり | | ※音声説明あり | |
| 自分の居場所を伝える 録音「1」 | 家族の居場所を調べる 再生「2」 | 自分の居場所を伝える 録音「1」 | 家族の居場所を調べる 再生「2」 |



他の人に自分のことが
伝わるように

赤い紐で首からかけら
れる
避難する際に持ち出す

3. 災害・避難カード作成体験

(内閣府「災害・避難カード事例集」より)

(2) 作成例② 名刺大で財布に入れる

かけがえのない命をまもるために

「災害・避難カード」の書き方(例)

裏

メモ欄(留意事項など)

「災害・避難カード」

名前 住所 性別 年齢 型 人

電話番号

表

「避難の合図」を考えたとき、周囲のみなさんや家族の避難行動を参考にしてください!

避難場所はそれぞれの災害の種類を踏まえ、安全な場所に行きましょう!

避難所、町内会などで助けが求められる方の名前を記しておきましょう。みんなで見守り合いましょ。

だれを気にかける? (近所の高齢者など)

災害を促す情報や避難に関する情報が共有されたら一だれに連絡する?

誰に? 連絡先は?

●●町町民の避難行動

防災気象情報(気象庁等) 避難に関する情報(●●市) (注意を促す情報)

大層注意報・警報発表 → 「避難準備・高齢者等避難開始」発令

大層警報(土砂災害)発表 → 「避難勧告」発令

土砂災害警戒情報発表かつ記録的短時間大雨情報発表の場合 → 「避難指示(緊急)」発令

土砂災害警戒情報発表かつ土砂災害の前兆現象が発見された場合

避難行動

要配慮者に対しては個別に固定電話や携帯電話で安全確認

周辺所で声をかけながら避難

要配慮者は、直で避難場所まで搬送

【避難先】●●市公民館

●●市公民館に避難し、状況によっては▲▲市公民館へ移動

▲▲市公民館へ移動

前兆現象、危険な箇所を見つけたら町内会へ連絡

【避難先】●●市公民館

(状況によってはさらに▲▲市公民館へ移動)

すでに災害が発生している場合や外出が危険と判断される場合は、自宅の2階などから避難する

【避難先】●●市公民館

(状況によってはさらに▲▲市公民館へ移動)

外出が危険な場合、自宅の2階などの安全な場所

災害のおそれがあるときは地域のみんなが助け合いましょ!

災害に備えて、いつ・どこへ避難するか家族で話し合い決めておきましょう!

だれを気にかける? (近所の高齢者など)

災害を促す情報や避難に関する情報が共有されたら一だれに連絡する?

誰に? 連絡先は?

だれを気にかける? (近所の高齢者など)

災害を促す情報や避難に関する情報が共有されたら一だれに連絡する?

誰に? 連絡先は?

だれを気にかける? (近所の高齢者など)

災害を促す情報や避難に関する情報が共有されたら一だれに連絡する?

誰に? 連絡先は?

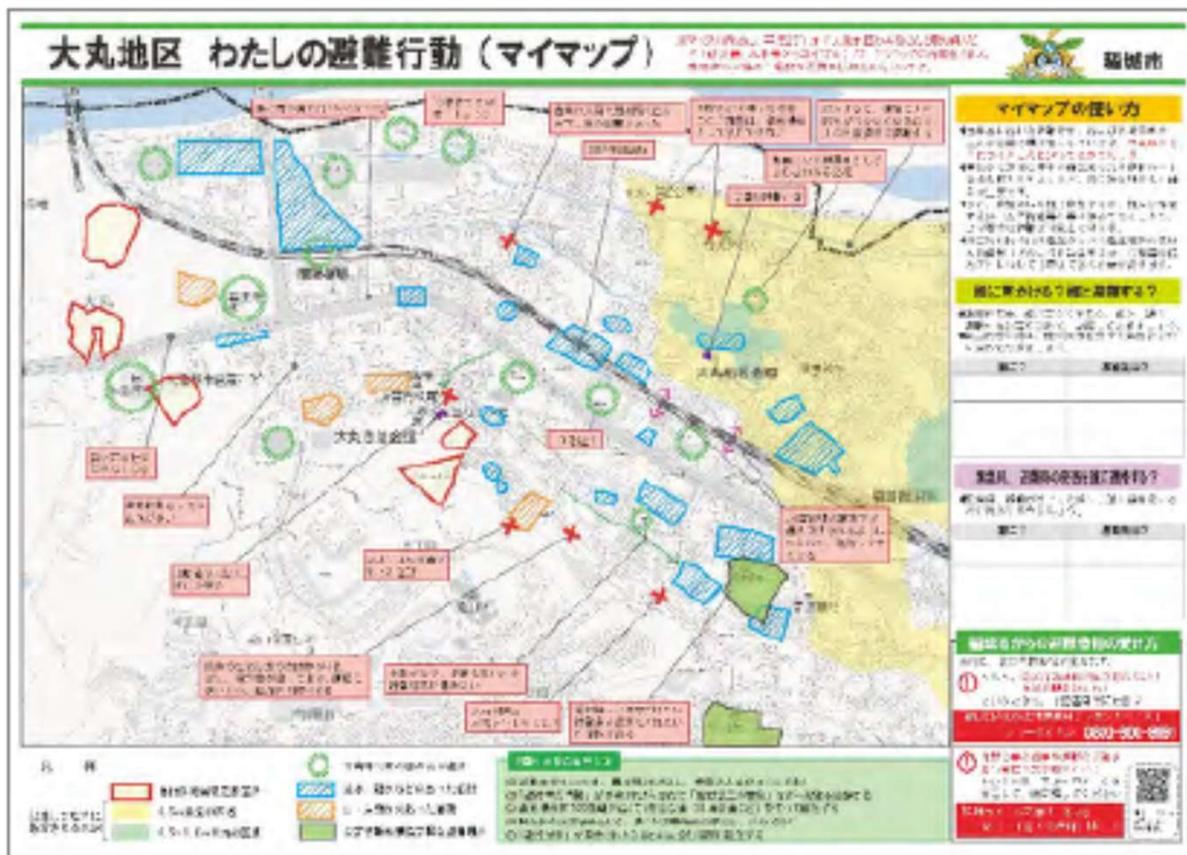
切り取り二つ折りで名刺大のサイズに

財布に入れる

本日は、このカードの作成を模擬体験いただけます。

3. 災害・避難カード作成体験

(3) 作成例③ 避難場所やルートを示す



(内閣府「災害・避難カード事例集」より)

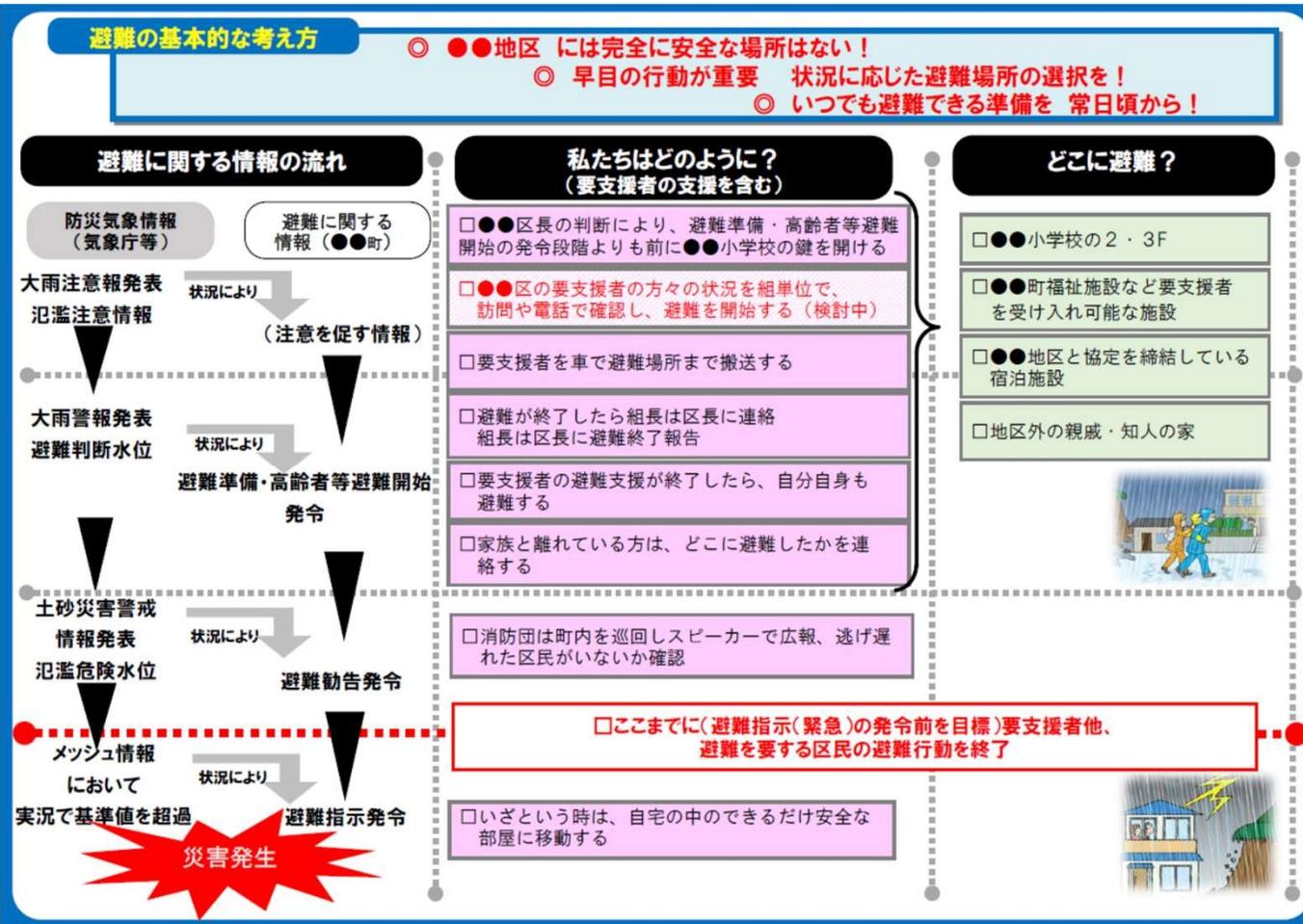
避難場所や避難ルートを示した
マップ形式

冷蔵庫等の目の留まる場所に掲出

3. 災害・避難カード作成体験

(4) 作成例④ 避難行動のタイムラインを示す

(内閣府「災害・避難カード事例集」より)



地区全体としての行動

地区内全戸に配布

3. 災害・避難カード作成体験

(4) 作成例⑤ 避難行動のタイムラインを示す

(内閣府「災害・避難カード事例集」より)

【●●地区 】 災害避難カード (避難のタイミング、避難方法の確認)

わたしの災害避難カード 名前

| | | | | |
|--|---|--|---|---|
| <p>防災気象情報 (気象台、●●県)</p> <p>大雨注意報 発表</p> <p>↓</p> <p>大雨警報 (土砂災害) 発表</p> <p>↓</p> <p>土砂災害警戒情報 発表</p> <p>↓</p> <p>土砂災害警戒情報 + 記録的短時間大雨情報 土砂災害警戒情報の基準を状況で超過 等</p> | <p>避難に関する情報 (●●市)</p> <p>(注意を促す情報)</p> <p>↓</p> <p>避難準備・高齢者等 避難開始 発令</p> <p>↓</p> <p>避難勧告 発令</p> <p>↓</p> <p>避難指示 (緊急) 発令</p> | <p>いつ? (避難のタイミング等)</p> <p>行動のタイミング</p> <p><自身のタイミング></p> <p><要配慮者への声かけ></p> <p>判断材料の入手</p> <p><情報提供></p> <p><地域の状況></p> | <p>どのように? (避難方法、避難場所等)</p> <p>避難方法</p> <p><避難の人数></p> <p>ひとり/ 家族と/ 近所の人と</p> <p><避難の手段></p> <p>避難場所</p> <p><第1候補></p> <p><第2候補> ※上記へ避難が困難な場合</p> | <p>日ごろから取り組もう! (地域の確認、災害時の準備等)</p> |
|--|---|--|---|---|

誰に声かける? 誰と避難する?

※避難する時、誰に声かけるか、誰と一緒に避難するか等を決めて、記録しておきましょう。要配慮者の方は、誰の支援を受けて避難するかを決めておきましょう。

| 誰と? | 連絡先は? |
|-----|-------|
| | |
| | |
| | |

緊急時、避難時の安否を誰に連絡する?

※緊急時、避難が完了した時に、誰に連絡をするのか決めておきましょう。
(地域ごとに連絡網を作成しておくことをおすすめします)

| 誰に? | 連絡先は? |
|-----|-------|
| | |
| | |
| | |

避難のタイミング、誰と避難するかを明確に

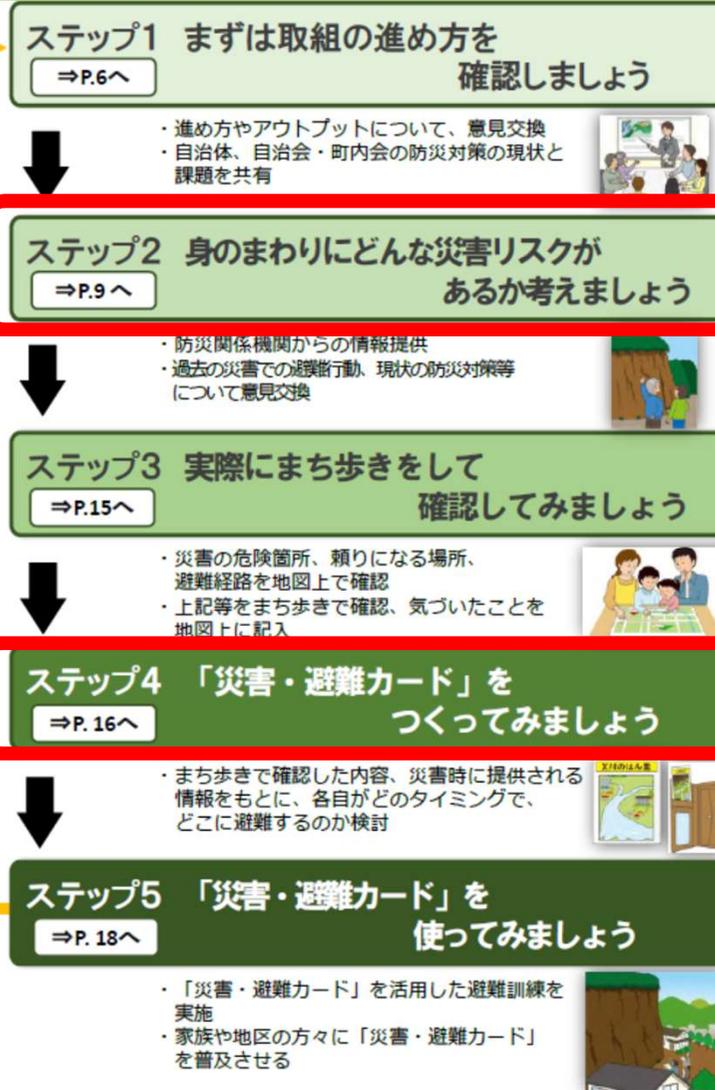
本日は、このカードの作成を模擬体験いただけます。

3. 災害・避難カード作成体験

(5) 作成手順の例

(内閣府「災害・避難カード事例集」より)

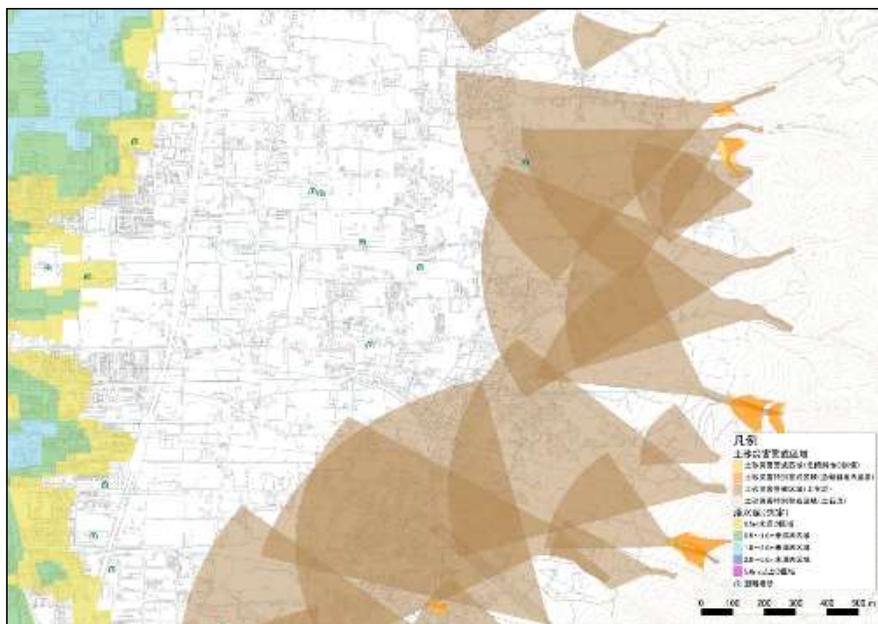
取り組みを受けて、継続的にカードを見直していく



本日は、このステップを模擬体験いただきます。

3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：自分の地区の強み・弱みを確認する



本日は体験版地図を用意しました。ご自宅が範囲外となる方は、大変申し訳ありませんが、作成の方法や着眼点を中心に学んでいただくようお願いいたします。

- 自宅の場所を確認して下さい
- 避難路を確認して下さい
- 指定避難所を確認して下さい
- その他、災害時の拠点があれば示して下さい
- 避難等に支障伴う狭い道路を確認して下さい
- 土砂災害警戒情報(土石流)を確認して下さい
- 土砂災害警戒情報(土石流)の谷筋を探して下さい
- 土砂災害警戒情報(がけ崩れ)を確認して下さい
- その他、風水害時の危険箇所を確認して下さい

3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：気づいたことを話し合う

今までの作業、同じグループの人からの発言、これまで考えていらっしまったこと等を通じて、気づいたことを付箋紙に書きましょう。

本日新たに発見したことはピンク色の付箋紙へ

狭い道が多い

避難の上で気になったことについては、水色の付箋紙へ

〇〇では水があふれていそう

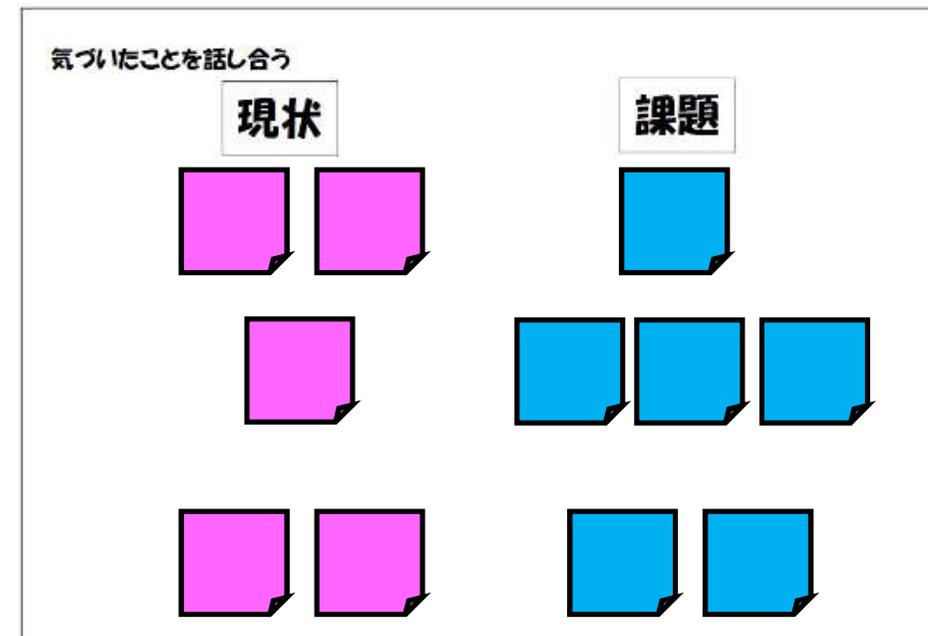
参加者の皆様方は、意識の大小によらず、いろいろお考えがあるのが実際です。付箋紙に書き出し、見える化する意義があります。

3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：気づいたことを話し合う

各自で書き出した付箋紙を、一人ずつ、一枚ずつ模造紙の上に出して、発表して下さい。

類型化できる付箋紙を寄せ集めたり、結びつきある付箋紙のまとまりに矢印を引く等により整理しましょう。



地区の課題を見える化し、お互いで共有できます。
作業を終え次第、グループごとに発表や、壁面に掲出して全参加者で共有しましょう。

3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：大雨の際、自分は何をしている？

■今はこんな状況です～場面①

今、水曜日の夜8時。
雨が降り続き、大阪府東部大阪には、大雨警報（土砂災害）が発表されています。
ニュースでは「大阪府全域では、今夜から明日昼にかけて、これまで経験のない大雨が予想され、大雨による浸水・土砂災害に警戒が必要」と報じています。



3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：大雨の際、自分は何をしている？

■今の場面①での「あなたの状況」は？

この場面でのご自身での行動を想像してみましょう

- ◎今、何人でどこにいますか？
- ◎外で起こっているであろうこと
- ◎これからどうしますか？
- ◎他に気になること

お一人ずつ、同じ色の付箋紙4枚一組で、それぞれ一言で記入して下さい。

**2人
自宅**

〇〇では
水があふれて
いそう

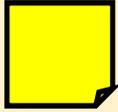
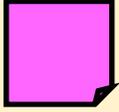
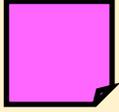
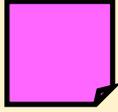
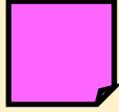
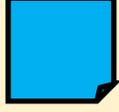
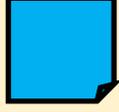
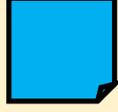
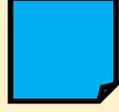
**ずっとニュース
見ている**

ひと暮らし
のお年寄り
へ連絡必要
かなあ？

3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：大雨の際、自分は何をしている？

■今の場面①での「あなたの状況」を皆で共有しましょう

| 【場面①】 | | | | 【場面②】 | | |
|---|---|---|--|------------|-----------|---------|
| 今、何人でどこに？ | 外で起こっていること | これからどうする？ | 他に気になること | 外で起こっていること | これからどうする？ | その際困ること |
|  |  |  |  | | | |
|  |  |  |  | | | |
|  |  |  |  | | | |
|  |  |  |  | | | |

◎ひとそれぞれ色を変えて一列に並べましょう！
◎同じテーブルの方どうして、なぜそう考えたのかを話して下さい。

3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：大雨の際、自分は何をしている？

■あれから時間が経ちました～場面②

今、木曜日の午前0時。
雨がさらに強く降り続き、1時間100ミリとなっています。
緊急速報メールで、土砂災害警戒情報、市内の避難
勧告の発令が届きました。
メールが届いた瞬間、停電になりました。



3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：大雨の際、自分は何をしている？

■今の場面②での「あなたの状況」は？

この場面でのご自身での行動を想像してみましょう！

- ◎外で起こっているであろうこと
- ◎これからどうしますか？
- ◎その際困ること

お一人ずつ、3枚一組で、それぞれ一言で記入して下さい。

〇〇さん宅の
裏の崖が
崩れている

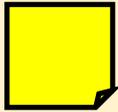
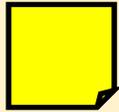
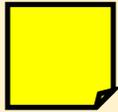
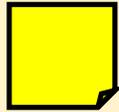
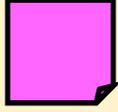
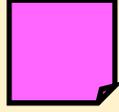
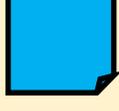
雨の中
高安コミュニティ
センターへ移動
する

外の地面が
はっきりと
見えない

3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：大雨の際、自分は何をしている？

■今の場面②での「あなたの状況」を皆で共有しましょう

| 【場面①】 | | | | 【場面②】 | | |
|---|--|--|---|---|---|---|
| 今、何人でどこに？ | 外で起こっていること | これからどうする？ | 他に気になること | 外で起こっていること | これからどうする？ | その際困ること |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | | | |  |  |  |
|  | | | |  |  |  |

◎ひといずつ色を変えて一列に並べましょう！
◎同じテーブルの方どうしで、なぜそう考えたのかを話して下さい。

3. 災害・避難カード作成体験

作業体験：大雨の際、自分は何をしている？

■ 場面①、②を通じて、考えてみましょう。

| 【大雨の際】 | | | |
|---------------------|----------------|-----------------------|------------|
| 情報収集を どうするか？ | 避難のタイミ ングは？ | どこへ避難 するか？ | 注意点 その他 |
| 日頃から住民が 理解しておくこと | | 本日の話し合いでは 判断できないこと | |
| 日頃から 決めておくこと | | | |

先ほどまでの作業では、お互いの行動(予定)はバラバラであることがわかりました。

それを明らかにした上で、左記のポイントを話してみるのが大切です。

5. 意見交換

2. 意見交換

本日体験いただいた「災害・避難カード」は、住民自身による適時適切な避難に有効とされています。

本日ご参加の皆様方の地区それぞれで取組が進んでいくために、以下の点について、お気づきの点を手短にお話し下さい。

- ①本日の作業量、話し合いのテーマについてのご感想
- ②災害・避難カードの作成ステップで他にもあると良いなと思ったこと
- ③地区内の一人ひとりが災害・避難カードを作成していくための工夫

6. あいさつ

7. 閉会

最後に、アンケートのご記入をお願いします。

お帰りの際、アンケートのご提出と引き換えに、防災啓発グッズをお持ち帰り下さい。

本日はありがとうございました。気をつけてお帰り下さい。